



# Avid® Editing Application

## ReadMe for Media Composer® v2024.6

---

**重要:** ソフトウェアの最新アップデートは、[www.avid.com/us/support/downloads](http://www.avid.com/us/support/downloads) からダウンロードできます。上記サイトから最新のアップデート情報を定期的にご確認ください。

### 重要な情報

新しいソフトウェアをご使用になる前に、この文書を必ずお読みください。

**重要:** 文書は最新の情報を反映した内容に変更される場合があります。Avid Knowledge Base で常に最新の ReadMe をご確認ください。

この文書には、以前のバージョンとの互換性やインストール方法、ハードウェア・ソフトウェアの稼働要件、システムやメモリに関する情報、ハードウェアやソフトウェアに関する制限についての情報等が書かれています。

---

# 目次

記号と表記法について .....	3
困ったときは.....	3
Media Composer に関する注意 .....	4
SRTに関する注意.....	5
セキュリティガイドライン .....	6
Media Composer v2024.6 で修正された不具合 .....	6
既知の問題.....	8
インストールの前に .....	10
(Windows) インストール中の上書き .....	10
Media Composer   Enterprise および Media Composer   Distributed Processing.....	10
MediaCentral   Production Management 環境へのインストールの前に .....	11
バッファエラーメッセージ .....	11
解凍時のエラーについて.....	11
“Raise Thread Priority”権利.....	11
管理者 (Administrator) としてインストール.....	11
インストールの後に .....	11
AMA プラグイン.....	11
ソフトウェア・ライセンスについて .....	11
OS をアップデートする時は .....	11
RAM 最小要件 .....	12
認証ハードウェアとオペレーティングシステム .....	12
認証ワークステーションおよびラップトップ .....	12
機能別稼働要件 .....	12
Avid Artist I/O デバイス互換表 .....	15
システムバージョン互換表 .....	15
オーディオデバイスとの互換について .....	16
NVIDIA カードのセットアップ .....	16
共有ストレージサポート.....	17

# 記号と表記法について

この文書では、以下の記号と表記法を使用します。

記号と表記法	意味
	関連する重要な情報、推奨される動作等のコメントです。
	誤った操作をするとシステムを破損したりデータを失ったりする恐れがあります。
	誤った取り扱い方をすると身体的な傷害を負う恐れがあります。電気機器を扱うときは、この文書または機器自身に付属のガイドラインをお読みください。
>	メニューコマンド（またはサブコマンド）を示します。例えば「ファイル>インポート」とは、まずファイルメニューを開き、続いてインポートコマンドを選択することを意味します。
▶	単一ステップの手順を示します。この記号が複数あるときは、その中から一つの動作を選んで実行してください。
(Windows), (Windows のみ) (Macintosh), (Macintosh のみ)	Windows または Mac のみに適用される操作や情報を示します。
太字	主にユーザーインターフェース上のアイテムを示します。
斜体	特定の言葉を強調するときや変数を示します
<b>Courier Bold font</b>	キーボードから入力するコマンドを示します
Ctrl+ キー またはマウス	最初のキーを押したまま、次のキーを押すか指定されたマウスアクションを実行します。例えば <b>Command+Option+C</b> 、 <b>Ctrl+ドラッグ</b> 等です。
(パイプ)	<b>MediaCentral   Production Management</b> のような Avid の製品名で使用します。この文書では、パイプは項目名、または最初に登場したときに使用します。

## 困ったときは

Avid 製品を使用中に問題が発生した場合は:

1. ガイドを注意深く読みなおしながら、もう一度操作を実行してください。操作の一つ一つを確実にチェックしてください。
2. ReadMe の新しいアップデートが出ていないか確認してください。最新の ReadMe は Web サイトにアップロードされています。オンラインで ReadMe を確認するには、Help メニューから「お読みください」を選択するか、<http://www.avid.com/readme> から ReadMe を検索してください。
3. Avid アプリケーションやハードウェアに付属の文書を確認してください。必要な文書はアプリケーションインストール時に PDF 形式でシステムにコピーされます。Help メニューの内容は、レイアウト上の制約から、印刷には適さない場合があります。詳細で見やすい情報が必要な場合は PDF バージョンを印刷してお使いください。
4. オンラインサポート [www.avid.com/onlineSupport/](http://www.avid.com/onlineSupport/) をご確認ください。エラーメッセージやトラブル対応、Tips、アップデートのダウンロード等は Knowledge Base をご利用ください。

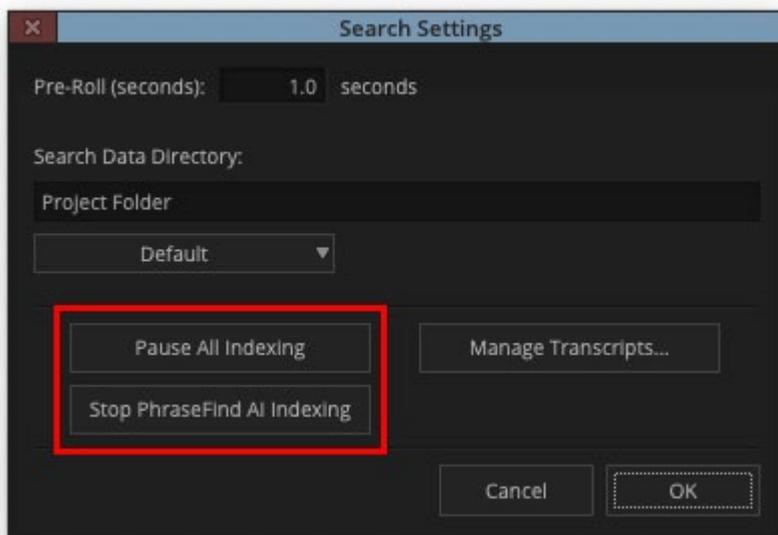
## Media Composer に関する注意



Avid Link は常に最新バージョンを使用するようにしてください。最新バージョンに更新するには、Avid Link にサインインし[更新] をクリックするか、MyAvid (<https://my.avid.com>) から最新バージョンをダウンロードしてください。



PhraseFind AI はメディアをバックグラウンドでインデックスします。インデクシングには多くのリソースが必要であり、Media Composer の動作に影響を及ぼす場合があります。編集の動作が顕著に遅くなった場合は、検索ウインドウからインデクシングを中断させることができます。検索ウインドウの歯車アイコンをクリックして、[インデクシングを一時停止] または [PhraseFind AI インデクシングを停止] を選択してください。



Media Composer 2023.8 以降では、HDV メディアのインポート、エクスポート、作成はサポートされません。



Media Composer 2023.8 以降では、IEEE-1394 (Firewire) を使用した HDV 素材の取り込み (テープ素材) や出力 (デジタルカット) はサポートされません。



(mac のみ) : macOS Catalina では、32-bit アプリケーションはサポートされません。以前のタイトルツール、Marquee ツール、QuickTime レガシーコーデックはインストールされません。Catalina 以前のシステムに Media Composer をインストールする場合は、これらのツールについて、別のインストーラーが用意されていますので、これを使って別にインストールしてください。QuickTime が既にインストールされている場合は、レガシーコーデックのみをインストールします。インストーラーは "Media Composer Legacy Components 2020.4 Mac" です。MyAvid リンクまたはダウンロードセンターからダウンロードできます。



(mac のみ) : macOS Catalina 以上では、DMF (ダイナミックメディアフォルダ) はサポートしていません。



Media Composer v2022.7 以降で作成されたグループクリップまたはマルチグループクリップのサブクリップは、オリジナルのサブクリップを読み込みます。Media Composer v2022.7 以前のバージョンで作成されたグループクリップまたはマルチグループクリップのサブクリップは、グループクリップまたはマルチグループクリップを読み込みます。

- AMD カードを使用していて、Ctrl+Shift+M や Ctrl+Shift+G のようなモディファイアキーが必要なショートカットが動作しないときは、AMD の "Use Hotkeys" 設定を無効にしてください。
- Avid DNxIQ や Avid DNxIV のような I/O デバイスを接続しているときは、Media Composer v2022.10 を最初に起動するときに手動でデバイスを選択し、出力デバイスとして有効化する

必要があります。タイムラインウィンドウの HW/SW ボタンを右クリックし、使用したいデバイスを選択してから HW/SW スイッチを On にして有効にします。次回 Media Composer を開いたときは、この設定が使用されます。

- (MCCET-4684) SCC ファイルをインポートしたとき、行が混ざったり重なったりした結果、テキストが一口气に表示されることがあります。これを防ぐためには、SCC ファイルから Duplicate Control Code を削除してください。
- (MCCET-2541) Avid Artist DNxIO または Avid Artist DNxIQ を使用しているときは、Windows OS の「サウンド」コントロールパネルから、BlackMagic Audio のライン入力録音を無効にしてください。
- **Avid Artist DNxIO および Avid Artist DNxIQ について** : Avid Artist DNxIO、Avid Artist DNxIQ、Blackmagic Design の各ビデオデバイスをお使いの場合、Desktop Video ソフトウェアは v12.4 以上をお使いください。Avid Artist DNxIV 及び Avid Artist DNxIP をお使いの場合、AJA ソフトウェアを v16.2.2 以降に更新してください。
- **認証されているオペレーティングシステム** : 詳細については、[認証ハードウェアとオペレーティングシステム](#)をご参照ください。
- **ドングル (Mac のみ)** : Media Composer v2024.2 以降では、macOS でドングルはサポートされません。macOS Monterey 以降をサポートする認証 OS の変更によるものです。



**Sentinel ドライバーをインストールするときは、システム環境設定の「セキュリティとプライバシー」でドライバーのアクセスを許可していることを確認してください。**

- \Program Files\Avid\Avid Media Composer\SupportingFiles\Utilities フォルダーに **dnxmov2mxf** という実行ファイルがあります。これは、アルファが別に保存されている DNX 圧縮された MOV がファイルを、アルファをエンベッドした MXF OP1a に変換します。このツールは Windows、osX、Linux で使用できます。Windows で起動するには、Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2015 または Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2017 が必要です。Windows のコマンドプロンプトまたは macOS のターミナルから以下を実行してください。  
`dnxmov2mxf path_to_mov [path_to_mxf]`

## SRT に関する注意

SRT に関する詳細は、Help メニューの "Open IO Support for SRT" をご参照ください。

### 出力

- SRT が本来的に圧縮ストリーミングである点と、受け側のアプリケーションの性能差等により、出力された映像は Media Composer 内のビューワーと同期が取れない場合があります。デコーダーの性能によっては、Media Composer 内のビューワーから数秒ズレる可能性があります。ネットワークの速さによっては、デコーダー側のバッファリング設定を変更する必要があるかもしれません。

### SRT クオリティビットレート

- デフォルト設定は以下のとおりです :

Low Quality (Long GOP ベース圧縮) – 3Mbps (30fps 以下)、6Mbps (30fps 以上)

Medium Quality (Long GOP ベース圧縮) – 6Mbps (30fps 以下)、12Mbps (30fps 以上)

High Quality (Intra-frame ベース圧縮) – 40Mbps (1080p/29.97) フレームレートとラスターの設定によっては、これ以上の値を取ります。

- ビットレートは可変であり、送出されるメディアの内容によってはこれを超える可能性もあります。ビットレートはフレームレートとラスターサイズによって変化し、また送出される

映像の内容によっても変わります。

- SRT では 8bit のみのサポートです。Media Composer のプロジェクトが 10bit だったときは、I/O は自動的に 8bit に変更されます。

#### プロジェクト/メディアサポート

- 2K/UHD/4K プロジェクトは、同じフレームレートの HD にダウンコンバートされます。例えば UHD 4k 23.976 で SRT を使用すると、HD 23.976p にダウンコンバートされます。
- インターレースフォーマットはネイティブサポートされません。同じフレームレートのプログレッシブとして送出されます。
- オーディオはステレオミックスされます。
- RGB はネイティブサポートされません。YUV に変換されます。



SRT プラグインは、v2024.6 以降のすべての Media Composer でサポートされます。

## セキュリティガイドライン

Avid Media Composer ではエンドポイント検出と応答のソリューションをインストールできます。特定のソリューションをサポートするものではありませんが、CrowdStrike Falcon に関する一般的な情報とガイドラインについては、以下をご参照ください。

[https://avid.secure.force.com/pkb/articles/en\\_US/troubleshooting/en239659](https://avid.secure.force.com/pkb/articles/en_US/troubleshooting/en239659)



NEXIS Client 23.8.2 と 23.12 では CrowdStrike v7.0.4 以降が必要です。これ以前のバージョンの NEXIS Client では、v7.0.3 までをサポートします (Windows、macOS)。

## Media Composer v2024.6 で修正された不具合

- **Bug Number:** MCCET-5404 Telestream Live Capture で収録中編集 (EWC) を行うと、作成された Proxy メディアから一部のオーディオが欠落し、収録を終了するまで復旧しないことがある。
- **Bug Number:** MCCET-5464 Send to Playback with Transcode が、すでに作成されている解像度に対してトランスコードを実行してしまうことがある。
- **Bug Number:** MCCET-5449 オーディオミックスダウンが実行された特定のシークエンスで、Send to Playback を実行すると “Unrendered video effects detected after render” エラーが出る。
- **Bug Number:** MCCET-5370 リンクされた AVCHD メディアに 7 バンド EQ3 エフェクトを適用するとプレビューが実行できず、Media Composer がハングする。
- **Bug Number:** MCCET-5481 新規プロジェクト設定画面で [Choose for me] オプションをつけて四季プロジェクトを [作成] すると、解像度やラスターは後で設定するものであるにもかかわらず、“Incorrect value for width and height (高さ & 幅の数値が間違っています)” エラーが出る。
- **Bug Number:** MCCET-5519 [送信] を実行すると “This is Preview Feature (これはプレビュー機能です)” メッセージが出る。
- **Bug Number:** MCCET-5520 32 文字以上の文字が使われたコラム名があると、ALE ファイルがインポートできない。
- **Bug Number:** MCCET-5518 NRCS ツールの編集モードで (VizRT Mozart 等で作成された) MOS オブジェクトを含む編集を保存すると、Assertion Error が出る。
- **Bug Number:** MCCET-5536、5496 (MediaCentral | Production Management) Dynamic Relink が有効

な状態でシークエンスを開くと、Media Composer が応答しなくなることがある。

- **Bug Number: MCCET-5447** Media Composer Classic レイアウトで [Interface] 設定の [インターフェースの明度] が明るく設定されていると、テキストが読めなくなる。
- **Bug Number: MCCET-5453** グループクリップを編集するときに、グループクリップの(オーディオトラックのない) ビデオトラックのみを使用するシークエンスをコンソリデートして作成されたグループクリップで、ビデオとオーディオがずれることがある。
- **Bug Number: MCCET-5539** デュレーションの値と実際のデュレーションが違う ALE をインポートすると“Exception: BIN\_IMPORT\_NO\_MATCH” エラーが出る。
- **Bug Number: MCCET-5538** [Import] 設定で [既知のマスタークリップとイベントを統合] が選択されていると、ALE をインポートしたときにカスタムコラムが表示されない。
- **Bug Number: MCCET-5130** NEXIS に保存されたプロジェクトを開くと、ビンコンテナのサイドバーが点滅し、ビンやフォルダーが表示されなくなる。
- **Bug Number: MCCET-5557** Dynamic Relink が有効な状態でコンソリデートされたクリップでメディアをリリンクすると、オーディオがオリジナルのオーディオとリンクする。
- **Bug Number: MCCET-5548** DNxIO または DNxIQ で外部モニターに出力している状態で 50p プロジェクトのビデオを再生すると、数分経過するとビデオとオーディオがずれる。
- **Bug Number: MCCET-5555** Media Composer v2021.x 以降で、NRCS ツールウィンドウが以前と同じようなサイズに小さくできない。
- **Bug Number: MCCET-5440** Composer 設定での設定の順序によっては、マルチカムモード (4 面、9 面) の 1/4 解像度での NDI または SRT での再生に問題が発生する
- **Bug Number: MCCET-4815** (MediaCentral | Production Management) 部分的にレンダリングされた Matte Key クリップをチェックアウトすると、すでに以前のレンダリングは消去しているにもかかわらず、以前のレンダリング結果のステータスが表示される。
- **Bug Number: MCCET-5526** 日付をまたいだ TC で収録された OP1a をリンクすると、レコードモニター上での TC での移動が正しく動作しない。
- **Bug Number: MCCET-769** J キーを何度か押して逆再生の早送りを実行すると、“APanVolConsumer::GetAudioGain()Invalid finalDistanceToNext [0]” エラーが出る。
- **Bug Number: MCCET-5094** ミキサーのモニタリングを [ダイレクト: Pro Tools 順サラウンドトラック] に設定すると、ミキサーのサイズを変更したときフェーダーの長さが変わる。
- **Bug Number: MCCET-5325** [スクリプトを検索] コマンドが、いくつものスクリプトマークで分割されたおおきな部分を結果として表示する。
- **Bug Number: MCCET-5337** フローティングライセンスを使用すると、Media Composer が Activate な状態を維持できず、起動時に再び [ライセンスサーバーを使用] へのチェックを求められる。
- **Bug Number: MCDEV-18779** アルファを持つ ProRes 4444 をリンクすると、再生時にフリッキングし、Media Composer がクラッシュする。
- **Bug Number: MCCET-4894** オーディオスクラブを使用すると、音が途切れたりノイズが入ったりする。

## 既知の問題

以下の問題は既知の問題です。

- QuickTime がインストールされていないシステムでは、Photoshop PSD ファイルの AMA リンクはサポートされていません。
  - 特定のフォントでは、太字しか持っていないものがあります。Mac システムにおいては、フォントを選択しても何も変化が起きないことがあります。このときは、Bold を選択してみてください。
  - ダイアログで有効にしているにも関わらず、プロジェクト起動時に“Enable 3rd Party Emulation”メッセージが出る場合は、[ファイル]メニュー>[設定]を選択し、[プロジェクト]タブをクリックします。次に[General]設定を開き、“Avid NEXIS/ISIS をエミュレートするサードパーティーのストレージでピン共有を有効にする”を選択してください。
- **Bug Number: MCDEV-18929** ソースブラウザーから PTXM ファイルをリンクすると、PMM\_MISMATCHED\_MEDIA エラーと PMM\_INSUFFICIENT\_MEDIA エラーが出る。これらのエラーは、マルチチャンネルオーディオ形式の特定のファイル命名規則の誤った解釈によって発生する可能性があります。
- 回避方法：[Link] 設定 > [リンクオプション] タブの [BWF モノフォニックグループの自動検知] を Off にしてください。この設定は、ソースブラウザーからファイルをリンクするときのみ必要です。インポートには影響ありません。
- **Bug Number: MCDEV-18752** SRT 設定でパスワードが設定されていると、Avid Huddle が Teams に接続できなくなる。
- 回避方法：設定されているパスワードを削除してください。
- **Bug Number: MCDEV-18461** Boris FX が [クリップから文字起こし] のインデクシング動作を阻害する。
- **Bug Number: MCDEV-18451** QuickTime がインストールされていないシステムで、QuickTime ファイルのファストインポートが実行できない。
- **Bug Number: MCDEV-18368** QuickTime がインストールされていないシステムで、アルファチャンネルを持った QuickTime ファイルが常に RLE としてインポートされる。
- **Bug Number: MCDEV-18307** QuickTime がインストールされていないシステムで、4K、8K、16K プロジェクトにインポートされた Matte Key クリップのオリジナルビデオ設定が、タイムラインクリップテキストの解像度として正しく表示されない。
- **Bug Number: MCDEV-18384** QuickTime がインストールされていないシステムで、QuickTime MOV から OMF が生成できない。
- **Bug Number: MCDEV-18374** QuickTime がインストールされていないシステムで、Import 設定 ウィンドウでアルファチャンネルが [無視] に設定されている場合を除き、オーディオトラックとアルファチャンネルの両方を含む QuickTime が常にマットキーとしてインポートされる。
- **Bug Number: MCDEV-18367** QuickTime がインストールされていないシステムで、Import 設定の [DV 走査線数のクロップ/パッド調整] が正しく動作しない。
- **Bug Number: MCDEV-18411** QuickTime がインストールされていないシステムで、アルファチャンネルを持つクリップをインポートすると、Matte Key クリップのアルファレイヤーが正

しくリサイズされない。

**回避方法**：クリップをインポートする前に **Import** 設定ウィンドウで [小さい画像はリサイズしない] が選択されていた場合は、ビン内のイメージを右クリックして [ソース設定] を選択します。[FrameFlex] タブで、[Reformat] ドロップダウンメニューから [中央でサイズを維持] を選択し、[Apply] をクリックします。これにより、**Matte Key** とその関連シーケンスに空間アダプターが追加されます。レンダリングが必要になります。

- **Bug Number: MCDEV-18107** (Windows) Media Composer のインストールが失敗し、1309 エラーを出す。インストーラーのパスが長すぎるときに発生します。例えばインストーラーがデスクトップ上から実行されているとき等に発生しやすいです。

**回避方法**：インストーラーをドライブのルートレベルから実行してください。

- **Bug Number: MCCET-4971** Media Composer 2022.12 以降で、コマンドパレットで [メニューからボタンに割付] を選択していても **新規 > シークエンス** がキーボードに割り当てられず、「そのメニューアイテムは割付できません」というメッセージが表示される。これは新しいサブメニューによる機能拡張が原因であり、将来的に変更される可能性のある関数をマッピングすることはできません。

**回避方法**：Cmd+Shift+N (macOS) または Ctrl+Shift+N (Windows) で新規シーケンスを作成してください。

- **Bug Number: MCDEV-17243** Disk Cache が off または 0 だと、プロキシの再生ができなくなる。

**回避方法**：Avid NEXIS | EDGE を使用時は、Disk Cache を 1 以上に設定してください。

- **Bug Number: MCDEV-16685** SRT が無効のとき、ハードウェア設定がプロジェクト設定を正しく引き継げず、UHD と HD フォーマットの間でミスマッチが発生し、キャプチャーツールでエラーが出る。

**回避方法**：SRT が無効でキャプチャーツールが開いているときは、ビデオ出力を手動で設定してください。

- **Bug Number: MCDEV-15629** Matte Key クリップに対してプロキシを作成しても、アイコンの色が変わらない

**回避方法**：プロキシが作成されているかどうかは、Proxy Offline コラムを確認してください。

- **Bug Number: MCDEV-17081** ハイRezファイルが存在しないのにメッセージが表示されず、プロキシメディアを使って出力される

- **Bug Number: MCDEV-15413** データトラックが壊れていると、リンククリップからプロキシが作成できないことがある。

- **Bug Number: MCDEV-16119** (Avid Artist DNxIQ) オーディオをキャプチャーしようとする時、“Audio/video is unexpectedly no longer coming into the system” エラーが出る。このエラーが出るのは最初の一回だけで、その後は問題なくキャプチャーできるようになります。

**回避方法**：最初にビデオをキャプチャーし、その後ビデオをオフにしてキャプチャーしてください。

- **Bug Number: MCDEV-15843** (Windows 11) ファインダーからビンにドラッグ & ドロップできないことがある。

**回避方法**：インポートまたはリンク時には、ソースブラウザーを使ってください。

- **Bug Number:** MCDEV-14845 Media Composer が Software Only モードだと、Media Composer | Enterprise Admin ツールで NDI 機能を制限できない。
- **Bug Number:** MCCET-3702 HD インターレースシークエンスに UHD プログレッシブクリップを追加したときの画質。

Media Composer では、プロジェクトの設定にクリップのフォーマットを合わせるとき、mix and match の処理を行います。まずモーションアダプターを適用し、次に解像度を z 法制します。

例えば、1080i タイムラインに UHD 50p クリップを追加するときは、まず UHD クリップを 2 つのフィールドに分割し、それぞれのフィールドを 1920x540 のサイズに変更します。最後にこれらのリサイズされたクリップを一つに合わせますが、このときオリジナルの鮮明さは失われてしまいます。

**回避方法：**UHD プログレッシブを HD プログレッシブにトランスコードしてから、これを HD インターレースシークエンスに追加すると、UHD から HD へのサイズ変更プロセスは 2 つに分割するプロセスの前に実行されます。

- **Bug Number:** MCCET-3788 OP1a オーディオクリップを重畳した AAF をエクスポートしようとすると、“clip name is a clip in a multi-essence file that cannot be exported using the specified Embedded in AAF setting” エラーが出ることもある。

**回避方法：**エクスポート前に、OP1a ファイルを OP-Atom にコンソリデートしてください。

- **Bug Number:** MCDEV-12988 (macOS) Media Composer v2020.4 では、AMA Drasticpy ラグインはサポートされません。
- **Bug Number:** MCDEV-12735 Radeon グラフィックカードを使用していると、Maestro グラフィックがタイムラインで表示されない。
- **Bug Number:** MCDEV-11481 モーションアダプターが含まれていると、Title Tool アプリケーションで作成したタイトルが Avid Titler+ にプロモーションできない。
- **Bug Number:** MCCET-11796 10bit 以上の DPX が正しくリンクできない

**回避方法：**[ファイル]>[設定]を開き、[User] タブをクリックします。[Link] 設定で[リンクオプション]からアルファチャンネルを [無視] に設定してください。

- **Bug Number:** MCDEV-8641. (AMD Graphics) AMD グラフィックカードを搭載したシステムでフルスクリーン再生すると、画面がティアリングする。

## インストールの前に

### (Windows) インストール中の上書き

v2020.12.x 以降のバージョンからアップデートするときは、上書きを実行するか尋ねられます。それ以前のバージョンからのアップデートの際は、まず以前のバージョンをアンインストールしてください。

## Media Composer | Enterprise および Media Composer | Distributed Processing

Media Composer | Enterprise および Media Composer | Distributed Processing をお使いの場合、Media Composer | Enterprise Administration Guide and Media Composer | Distributed Processing Administration Guide の "Installation Prerequisites" をご参照の上、Avid MediaCentral Cloud UX Platform ISO および

Avid MediaCentral Cloud UX Feature Pack ISO のサポートバージョンをご確認ください。

## MediaCentral | Production Management 環境へのインストールの前に

アップグレードの前に“*Avid Editor Compatibility with Interplay Releases*”をご参照ください。編集システムのアップグレード時に、Interplay コンポーネントをアップグレードする必要がある場合があります。[https://avidtech.my.salesforce-sites.com/pkb/KB\\_Render\\_FAQ?id=kA96e000008T8t&lang=ja](https://avidtech.my.salesforce-sites.com/pkb/KB_Render_FAQ?id=kA96e000008T8t&lang=ja)

### バッファエラーメッセージ

システムには最低 8GB の RAM が必要です。メモリが 8GB 以下のシステムにアプリケーションをインストールしようとする、バッファエラーが表示され、インストールできません。

### 解凍時のエラーについて

解凍時に「ファイルパスが長すぎます」とか「ファイル名が長すぎます」というエラーが出た場合は、.zip ファイルを c: に置いて解凍してください。

### “Raise Thread Priority”権利

(Windows) ドメイン管理者の方へ: システムがドメイン管理下にあるときは、ユーザーに“*Increase Scheduling Priority*”権限を与えてください。この操作は、ドメインコントローラーのドメイングループポリシーで、ユーザーまたはグループに対して明示的に与えられなければなりません。通常のユーザーではシステムを起動することができません。

ドメイン管理下にいる場合はドメイン管理者に相談の上、インストールと最初の起動はドメイン管理者に依頼するようにしてください。

### 管理者 (Administrator) としてインストール

最初のインストールと起動は管理者 (Administrator) として行う必要があります。共有ストレージ環境にいる場合は、ワークスペースを Administrator としてマウントしてください。その後、ログオフして通常のユーザーとしてログインし直してください。

## インストールの後に

### AMA プラグイン

アプリケーションのバックグラウンドサービスが稼働中は AMA プラグインをインストールすることはできません。AMA プラグインをインストールする前に、バックグラウンドサービスを停止してください。バックグラウンドサービスの起動/停止は、メニューバー (Mac) またはタスクバー (Windows) から行えます。AMA プラグインをインストールしたら、バックグラウンドサービスを再起動してください。詳細は Help の“*Starting and Stopping Avid Background Services*”をご参照ください。

## ソフトウェア・ライセンスについて

### OS をアップデートする時は

アプリケーションをインストールした後で OS をアップグレードする必要がある場合は、まずソフトウェアをディアクティベートしてください OS をアップグレードした後、必要であればアプリケーションを再インストールした後でソフトウェアを再アクティベートできます。ライセンスのアクティベート/ディアクティベートに関する詳細は *Installation Guide for Avid Editing Applications* をご参照ください。

## RAM 最小要件

このリリースでは、最小 16GB RAM、32GB RAM が推奨です。特定の機能ではさらに RAM が必要な場合もあります、詳細は p.12 「機能別稼働要件」を参照ください。

## 認証ハードウェアとオペレーティングシステム

特定の機能は CPU に大きな負荷をかけるものや特定のハードウェアが必要な場合があります。詳細は p.12 「機能別稼働要件」をご参照ください。

以下の表は、Windows および Macintosh で認証されているハードウェアです。

3rd パーティ製 Open IO ハードウェアの認証情報については、各ベンダーから発行されている文書をご参照ください。Open IO については [http://avid.force.com/pkb/articles/en\\_US/faq/en422991](http://avid.force.com/pkb/articles/en_US/faq/en422991) をご参照ください。

以下は認証されているオペレーティングシステムです。お使いのハードウェアに応じ、以下のオペレーティングシステムをサポートしています。

- Windows 10 64-bit 22H2 以降 (Professional、Enterprise)
- Windows 11 64-bit 22H2 以降 (Professional、Enterprise)
- macOS v12.x ~ v12.7.x、13.0~13.6.x、14.0~14.5.x



Mac OS v10.13.x (High Sierra)において、Apple はカーネルエクステンション (KEXT) の手動での読み込みを必要とする仕様に変更しています。例えば Avid Nitris DX、Blackmagic、AJA 等の I/O デバイスはカーネルエクステンションのインストールが必要ですが、これらは自動ではインストールされず、結果として「KEXT が読み込まれていない」旨のメッセージを受け取ることになります。この場合、システム設定の「セキュリティとプライバシー」を開き、手動で KEXT を認証してください。I/O デバイスのドライバーをインストールするときは「セキュリティとプライバシー」ウインドウを開いたままにしておくと、ドライバーの動作に認証が必要になります。ここで 30 分以内に「Allow (許可)」ボタンをクリックしてください。これを行わないと、ドライバーは実行できなくなります。

## 認証ワークステーションおよびラップトップ

Windows および macOS の認証システムについては、[Avid Qualified System](#) の Windows または macOS の該当 PDF をご参照ください。

## 機能別稼働要件

機能の一部には、CPU に高い負荷をかけるものがあります。その結果、古いシステムでは性能が発揮できない場合があります。以下の表は、機能ごとに必要なハードウェア要件です。システムの認証状況については「[認証ワークステーションおよびラップトップ](#)」をご参照ください。

機能	要件	推奨システム
PhraseFind AI ScriptSync AI	24GB RAM 以上	認証システム
8K プロジェクト	128GB RAM 以上	64+ core Intel Xeon or AMD Threadripper CPU systems with Nvidia or AMD graphics
高解像度、高フレームレート	64GB RAM 以上	HP Z8 G5, Z6 G5,

機能	要件	推奨システム
ト XAVC-I メディアの編集 (UHD/4K 59.94p) Color Adapter 付き 4 ストリ ーム	96GB RAM 推奨	Lenovo P7, PX Dell 7960 ・ Single or dual CPU with 56+ virtual cores (with HT) ・ Nvidia RTX A5000, A5500, A6000, 5000 Ada, 6000Ada ・ AMD W6800, W7900 HP Z8, Z6, Lenovo P920, P720, P620 Dell 7920, Dell 7820 ・ Dual gold 6154 or 6254 3.0 GHz 18-core (72 with HT) ・ AMD WX-7100, WX9100, Pro VII, W6800 ・ Nvidia RTX 5000, 6000, A5000, A5500, A6000 HP Z6A, Lenovo P620, P8 Dell 7865, 7875 or Boxx ApexxT4 ・ AMD Threadripper CPU with 32 or 64 Cores ・ Nvidia RTX A5000, A5500, A6000, 5000Ada, 6000Ada ・ AMD W6800, W7900 Storage: 10-40 Gb Ethernet Avid NEXIS
1080p/50 XAVC Long ベース バンドキャプチャー	32GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
高解像度、高フレームレ ートの編集 (UHD/4K 59.94p)	32GB RAM 以上 64GB RAM 推奨	HP Z8 G5, Z6 G5, Lenovo P7, PX Dell 7960 ・ Single or dual CPU with 56+ virtual cores (with HT) ・ Nvidia RTX A5000, A5500, A6000, 5000 Ada, 6000Ada ・ AMD W6800, W7900 HP Z8, Z6, Lenovo P920, P720, P620 Dell 7920, Dell 7820 ・ Dual gold 6154 or 6254 3.0 GHz 18-core (72 with HT) ・ AMD WX-7100, WX9100, Pro VII, W6800 ・ Nvidia RTX 5000, 6000, A5000, A5500, A6000 HP Z6A, Lenovo P620, P8 Dell 7865, 7875 or Boxx ApexxT4 ・ AMD Threadripper CPU with 32 or 64 Cores ・ Nvidia RTX A5000, A5500, A6000, 5000Ada, 6000Ada ・ AMD W6800, W7900 Storage: 10-40 Gb Ethernet Avid NEXIS

機能	要件	推奨システム
高解像度（2K 以上）メディアの編集	32GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
DMF、バックグラウンドトランスコード、バックグラウンドレンダリング	32GB RAM 以上推奨	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
Media Composer   Cloud	システムモデルにより 32GB RAM 以上	i7 Quad Core 以上、 Hyperthreading
J2K キャプチャー	16GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
ストリーム数の多いシークエンスでの XDCAM Long GOP 9 面マルチカメラ	32GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading Storage : 2 x 1Gb Ethernet 以上の NEXIS
ステレオ 3D	ステレオ 3D 編集には、パフォーマンスの高いマシンをお使いください。ステレオ 3D では 12GB RAM 以上を推奨します。	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
XDCAM HD50 キャプチャー	Open I/O を使用したキャプチャー	認証システム
HD RGB 444 Apple ProRes 4444 DNxHD 444	HD RGB キャプチャーには Open I/O デバイスと高性能マシン、高速なストレージが必要です。	Dual 6 Core 以上の認証 PC Mac Pro 6 Core 以上の Mac、 12 Core Hyperthreading Storage: 10Gb Ethernet Avid NEXIS
AMA (QuickTime)	AMA は CPU に高い負荷をかけます。性能が低いマシンだとパフォーマンスが発揮できない場合があります。特に H.264 ではリアルタイムパフォーマンスが落ちる可能性があります。	使用用途に応じて認証システムから選択してください。圧縮率が高いメディアを大量に使う場合は高性能のマシン（Dual 6 Core または Dual 8 Core）をお使いください。
AMA (RED)	AMA は CPU に高い負荷をかけます。より高いパフォーマンスが必要なときは、高性能のマシンをお使いください。	認証 Xeon システム  RED プラグインはグラフィックプロセッサを使用します。高パフォーマンスのグラフィックカードでは、より高いパフォーマンスが期待できます。
AVC-Intra キャプチャー	ソフトウェアコーデックでの AVC-Intra キャプチャーはサポートされています。	24 Core 以上の Windows システム
AVC-Intra	AVC-I は高画質低ビットレートの HD コーデックであり、CPU に高い負荷をかけます	4 面マルチカム再生 Dual Quad Core、Dual 6 Core、

機能	要件	推奨システム
		Dual 8 Core 4 ストリーム再生 Dual Quad Core、Dual 6 Core、 Dual 8 Core

## Avid Artist I/O デバイス互換表

各 Avid Artist I/O デバイスをサポートする Media Composer バージョンです。

使用する際は、[Avid Master Account](#) より、適切なドライバーをダウンロードしてください。

デバイス	サポートする Media Composer バージョン
Avid Artist   DNxIO	Media Composer v8.4.1 以降
Avid Artist   DNxIQ	Media Composer v8.8.3 以降
Avid Artist   DNxIV	Media Composer v8.10 以降
Avid Artist   DNxIP	Media Composer v2018.8
Avid Artist   DNxID	Media Composer v2018.9

## システムバージョン互換表

Media Composer で認証されている NVIDIA® ドライバー、QuickTime®、Windows Media™、共有ストレージ、Sony® XDCAM™、Panasonic® P2、Avid Artist シリーズの各バージョンです。Web サイトの”[互換バージョン対応表](#)”も併せてご参照ください。

**重要**：3<sup>rd</sup> パーティ製品（Sorenson、Boris 等）については、各社 Web サイトをご参照ください。

製品名	バージョン	コメント
QuickTime	v7.7.9 (Windows) v10.x (v7.x Legacy) (macOS)	QuickTime v10.x には QuickTime Pro オプションは含まれていません。 Windows 10ではQuickTimeはサポートされていません。 <a href="https://avidtech.my.salesforce-sites.com/pkb/KB_Render_FAQ?id=kA96e0000008Tx1&amp;lang=ja">https://avidtech.my.salesforce-sites.com/pkb/KB_Render_FAQ?id=kA96e0000008Tx1&amp;lang=ja</a>
Avid Interplay	互換性については <a href="#">Knowledge Base</a> をご参照ください。	<b>重要</b> ：編集システムにインストールする Interplay コンポーネントは、編集アプリケーションがリリースされた時期のバージョンをお使いください。これには、Media Indexer、Interplay Access、Interplay Framework、Interplay Transfer Client、ProEncode Client が含まれます。Interplay Server Component のバージョンは以前のもまでも構いません。詳細は Knowledge Base の“Avid Editing Application Compatibility with

製品名	バージョン	コメント
		Interplay Releases”をご参照ください。
NVIDIA ドライバー	v555.22(Ada シリーズ GPU) v474.82 (Kepler シリーズ GPU)	詳細は p.16 「 <a href="#">NVIDIA カードのセットアップ</a> 」をご参照ください。 ステレオ 3D 用のドライバー設定方法については、 <a href="#">Stereoscopic 3D Workflow Guide</a> の NVIDIA Setup Info をご参照ください。 このバージョンは、仮想マシン (VM) 用の NVIDIA vGPU ソフトウェア 14.4 をサポートしています。詳細は <a href="#">nvidia.com</a> をご参照ください。
AMD ドライバー	24.Q1	注意：22.Q3 にはアップデートしないでください。Media Composer が動作しなくなります。22.Q2 にも問題があることがわかっています。 詳細は <a href="#">amd.com</a> をご参照ください。
共有ストレージ	Avid NEXIS、Avid ISIS	詳細は p.17 「 <a href="#">共有ストレージサポート</a> 」をご参照ください。
Sony XDCAM	v2.13 (XDCAM Transfer for Macintosh) Windows FAM v2.3.2、 VFAM v5.0.2	PDW-U1 の VFAM ファームウェアバージョンは 2.600 です。PDW-U2 では 2.810 です。 ドライバーは Sony ウェブサイトからダウンロードしてください。
Panasonic P2	v3.1.7 (Macintosh) v2.24 (Windows)	現時点では Macintosh では P2 への書き戻しはサポートされていません。
Avid Artist シリーズ (Euphonnix)	EuControl ソフトウェア v3.4	Artist シリーズ User’s Guide をご参照ください。

## オーディオデバイスとの互換について

オーディオハードウェアおよびソフトウェアの互換については、以下の表をご参照ください：

ハードウェア/ソフトウェア	参照先
コントロール・サーフェス	<a href="#">Supported Control Surfaces</a>
Avid Artist I/O	<a href="#">Supported Avid Artist I/O Devices</a>
Media Composer と Pro Tools との共存	<a href="#">Co-install information for Media Composer and Pro Tools</a>

## NVIDIA カードのセットアップ

NVIDIA カードをセットアップする前に、正しいドライバーバージョンをインストールしていることを確認してください。必要であれば正しいドライバーをインストールしてください。サポートしているドライバーバージョンについては、p.15 「[システムバージョン互換表](#)」をご参照ください。

ドライバーは [nvidia.com](#) からダウンロードしてください。

#### **NVIDIA ドライバーバージョンを確認するには:**

1. デスクトップを右クリックし、NVIDIA コントロールパネルを選択します。Windows コントロールパネルから NVIDIA コントロールパネルを開くこともできます。
2. 左下隅の「システム情報」をクリックします。  
「グラフィックカード情報」にバージョンナンバーが表示されます。

#### **NVIDIA ディスプレイドライバーをインストールするには:**

1. 必要なドライバーを [nvidia.com](http://nvidia.com) からダウンロードします。
2. ドライバーインストーラーをダブルクリックします。
3. 画面の指示にしたがってインストールした後、システムを再起動します、

#### **マルチディスプレイをセットアップするには:**

1. デスクトップを右クリックし、NVIDIA コントロールパネルを開きます。
2. 左側のペインから「複数のディスプレイの設定」をクリックします。
3. リストから必要なディスプレイを選択します。

#### **Avid 環境用にドライバーをセットアップするには**

1. デスクトップを右クリックし、NVIDIA コントロールパネルを開きます。
2. 「3D 設定の管理」をクリックします。
3. 「グローバル設定」タブをクリックします。
4. 「グローバルプリセット」プルダウンメニューから「ベースプロファイル」を選択します。
5. 「設定」ペインをスクロールし、「電源管理モード」から「パフォーマンス最大化を優先」を選択します。
6. 「適用」をクリックします。

NVIDIA ソフトウェアをインストールした後は、インストーラーの指示がない場合でも必ずシステムを再起動してください。

Windows のドライバーロールバック機能（「ドライバーを元に戻す」機能）は NVIDIA ドライバーには使用しないでください。ドライバーのバージョンは、NVIDIA ドライバーインストーラーがインストールしたその他のコンポーネントと一緒になければなりません。

## **共有ストレージサポート**

共有ストレージサポートについては、以下の文書の Avid NEXIS および Avid ISIS の表をご参照ください。

[http://resources.avid.com/SupportFiles/Attachments/Interplay\\_MediaCentral\\_Support\\_Matrix.pdf](http://resources.avid.com/SupportFiles/Attachments/Interplay_MediaCentral_Support_Matrix.pdf)

## Legal Notices

Product specifications are subject to change without notice and do not represent a commitment on the part of Avid Technology, Inc.

This product is subject to the terms and conditions of a software license agreement provided with the software. The product may only be used in accordance with the license agreement.

This product may be protected by one or more U.S. and non-U.S. patents. Details are available at [www.avid.com/patents](http://www.avid.com/patents).

No part of this document may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording, for any purpose without the express written permission of Avid Technology, Inc.

Copyright © 2021 Avid Technology, Inc. and its licensors. All rights reserved. Portions ©

Copyright 2003-2007 of MOG Solutions.

### Attn. Government User(s). Restricted Rights Legend

U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS. This Software and its documentation are "commercial computer software" or "commercial computer software documentation." In the event that such Software or documentation is acquired by or on behalf of a unit or agency of the U.S. Government, all rights with respect to this Software and documentation are subject to the terms of the License Agreement, pursuant to FAR §12.212(a) and/or DFARS §227.7202-1(a), as applicable.

### Trademarks

Avid, the Avid Logo, Avid Everywhere, Avid DNXHD, Avid DNXHR, Avid Nexis, AirSpeed, Eleven, EUCON, Interplay, iNEWS, ISIS, Mbox, MediaCentral, Media Composer, NewsCutter, Pro Tools, ProSet and RealSet, Maestro, PlayMaker, Sibelius, Symphony, and all related product names and logos, are registered or unregistered trademarks of Avid Technology, Inc. in the United States and/or other countries. The Interplay name is used with the permission of the Interplay Entertainment Corp. which bears no responsibility for Avid products. All other trademarks are the property of their respective owners. For a full list of Avid trademarks, see: <http://www.avid.com/US/about-avid/legal-notices/trademarks>.

Adobe and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Apple and Macintosh are trademarks of Apple Computer, Inc., registered in the U.S. and other countries. Windows is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks contained herein are the property of their respective owners.

Avid Media Composer ReadMe • Created 6/27/24